

# 平成26年産うるち米の品種別作付動向について（速報）

当機構では、米の生産にかかる基礎的な資料として、今般、平成26年産うるち米の品種別作付割合について推計のうえ公表することといたします。

また、現時点では平成26年産水稻の作付面積が公表されていないため、平成27年3月公表予定の「平成26年産水稻の品種別作付動向について（確定版）」では順位、作付割合等に移動が生じることもありますので、ご了知のほど、よろしくお願いいたします。

なお、推計方法ならびに調査概要については以下のとおりです。

### 【推計方法】

- 作付割合は、平成25年産米における道府県毎の品種別作付割合、平成26年産用種子供給量をもとに、平成26年産用種子供給量を勘案して推計しています。

### 【調査概要】

- 平成26年産うるち米（醸造用米、もち米を除く）について、全国で最も作付が多い品種は「コシヒカリ」、以下「ひとめぼれ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「ななつぼし」で、上位5品種は前年産と同順位でした。
- 上位20品種のうち6位以下の11品種について、前年産と比べて順位の移動がありました。
- 上位10品種がうるち米作付面積全体に占める割合は76.4%（前年産76.8%）  
上位20品種では85.9%（前年産85.6%）でした。
- うるち米が水稻の作付面積全体に占める割合は95.6%（前年産95.5%）でした。
- BL、SL等の品種については、以下のとおり整理して集約しています。

品種名		集約した品種名
コシヒカリ新潟BL	⇒	コシヒカリ
あいちのかおりSBL	⇒	あいちのかおり
ハツシモ岐阜SL	⇒	ハツシモ
ササニシキBL	⇒	ササニシキ
コシヒカリ富山BL	⇒	その他

本件に関するお問い合わせ先  
 〒103-0001  
 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15  
 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部  
 TEL03-4334-2161、担当：馬場 藤原 小野塚

平成26年産うるち米の品種別作付割合上位20品種

単位：％

順位	品種名	作付割合	主要産地	前年産の順位	前年産作付割合比
1	コシヒカリ	36.4	新潟、茨城、栃木	1	-0.3
2	ひとめぼれ	9.7	宮城、岩手、福島	2	+0.1
3	ヒノヒカリ	9.2	熊本、大分、福岡	3	-0.3
4	あきたこまち	7.4	秋田、岩手、茨城	4	-0.1
5	ななつぼし	3.0	北海道	5	0.0
6	はえぬき	2.9	山形	7	+0.2
7	キヌヒカリ	2.7	滋賀、兵庫、埼玉	6	-0.2
8	まっしぐら	2.0	青森	8	+0.1
9	あさひの夢	1.6	栃木、群馬	9	+0.1
10	こしいぶき	1.5	新潟	11	+0.1
上位10品種の合計		76.4			
11	きらら397	1.4	北海道	10	-0.1
12	つがるロマン	1.2	青森	12	0.0
13	ゆめぴりか	1.1	北海道	15	+0.2
14	あいちのかおり	1.1	愛知、静岡	13	0.0
15	夢つくし	1.0	福岡	14	0.0
16	彩のかがやき	0.8	埼玉	16	+0.1
17	きぬむすめ	0.8	島根、鳥取	19	+0.2
18	つや姫	0.8	山形、宮城	17	+0.1
19	ハツシモ	0.7	岐阜	18	+0.1
20	ふさこがね	0.6	千葉	21	0.0
上位20品種の合計		85.9			

注) うるち米作付面積全体に占める割合。